

平成 22 年 2 月 12 日

会社名 株式会社アールテック・ウエノ

問合せ先 ビジネスマネジメント部長 中村 宏司

電話番号 03-3596-8011

平成 22 年 3 月期第 3 四半期の業績に関するお知らせ

当社は、本日平成 22 年 3 月期第 3 四半期決算短信および四半期報告書を発表しましたのでお知らせします。

また、業績目標に対する達成状況等を慎重に検討した結果、「平成 22 年 3 月期 配当予想の修正に関するお知らせ」のプレスリリースのとおり、取締役会にて平成 22 年 3 月期期末配当を 1 株当たり 1,000 円から 2,000 円に増配する決議を行いました。

当第 3 四半期における主な内容は以下の通りです。

【第 3 四半期累計期間比較】

(単位：千円)

期間	売上高	売上総利益	研究開発費	営業利益	経常利益	当期利益
2008/4/1 ~ 12/31 (前第 3 四半期 実績)	4,893,368	3,196,825	1,181,657	1,427,918	1,379,609	901,793
2009/4/1 ~ 12/31 (当第 3 四半期 実績)	2,941,074	2,021,133	1,043,032	421,811	419,525	442,134
2009/4/1 ~ 2010/3/31 (通期 計画)	4,184,024	-	1,412,685	675,070	664,057	603,539
増減 (対前年同期)	-1,952,293 -39.9%	-1,175,691 -36.8%	-138,624 -11.7%	-1,006,107 -70.5%	-960,084 -69.6%	-459,659 -51.0%
対計画進捗率	70.3%	-	73.8%	62.5%	63.2%	73.3%

【四半期実績推移】

(単位：千円)

期間	売上高	売上総利益	研究開発費	営業利益	経常利益	当期利益
2008/7/1 ~ 9/30	1,414,074	937,130	517,953	246,384	243,062	200,730
2008/10/1 ~12/31	1,322,326	829,343	417,152	215,001	137,900	110,951
2009/1/1 ~ 3/31	1,100,331	703,219	469,930	40,647	52,343	34,329
2009/4/1 ~ 6/30	1,036,825	738,399	334,883	231,057	229,643	328,372
2009/7/1 ~ 9/30	1,001,821	682,451	376,877	103,956	96,718	53,812
2009/10/1 ~12/31	902,427	600,281	331,272	86,797	93,163	59,949
増減 (対前年四半期)	-419,898 -31.8%	-229,061 -27.6%	-85,880 -20.6%	-128,204 -59.6%	-44,737 -32.4%	-51,001 -46.0%
増減 (対直前四半期)	-99,394 -9.9%	-82,170 -12.0%	-45,604 -12.1%	-17,159 -16.5%	-3,554 -3.7%	6,136 11.4%

経営成績について

・当第3四半期累計期間(2009年4~12月)の業績は、売上高2,941百万円(前年同期比4,893百万円、39.9%減)、経常利益419百万円(同1,379百万円、69.6%減)、純利益442百万円(同901百万円、51.0%減)となりました。また、2009年8月13日に発表した当期の業績予想の修正に関するお知らせに記載の通期計画に対する進捗率はそれぞれ、売上高が70.3%、営業利益が62.5%、経常利益が63.2%、純利益が73.3%となっております。いずれも当社計画の範囲内で推移しております。

【事業別売上】

(単位：百万円)

	2008年4-12月期 前年同期	2010年3月期 通期計画	2009年4-12月期 当期実績	計画比 (進捗率)
医薬品の製造販売	4,650	4,050	2,754	68.0%
レスキュラ®点眼液	2,383	2,684	1,971	73.4%
Amitiza®カプセル	2,252	1,366	783	57.3%
その他	14	-	-	-
医薬品の研究開発 支援サービス	243	132	185	140.1%
合 計	4,893	4,184	2,941	70.3%

・当第3四半期累計期間と前年同期との減収減益の主な原因は、前年同期は Amitiza®カプセルの特別出荷（適応追加承認にともなう初期出荷）があり、2,252百万円の売上高であったのに対し、当第3四半期は在庫調整中のため、783百万円の売上高にとどまったことによります。レスキュラ®点眼液 0.12%の売上は、前年同期比 17.3%減の 1,971 百万円でした。

・当第3四半期会計期間(2009年10～12月)と直前四半期会計期間(2009年7～9月)と比べ、減収の主な要因は、Amitiza®カプセルの納入タイミングのズレによるものでありますので、通期計画のとおり推移する見込みです。

財政状態について

・当第3四半期会計期末の財政状態は、流動資産 5,007 百万円（前期末 5,201 百万円）、固定資産 1,839 百万円（同 2,641 百万円）、流動負債 568 百万円（同 763 百万円）、固定負債 286 百万円（同 869 百万円）、純資産 5,993 百万円（同 6,210 百万円）で、自己資本比率は 87.5%（同 79.2%）でした。

- ・当第3四半期会計期末の現金および現金同等物は、2,816百万円（前期末2,387百万円429百万円増）となっております。有利子負債については、前期末に500百万円ありましたが、第2四半期会計期間中に完済し、有利子負債はありません。

経営に関する最新情報（平成21年10月1日から現在まで）

- ・平成21年10月6日、当社は、男性型脱毛症に対するRK-023の前期第2相臨床試験を開始したことを発表いたしました。今後迅速に開発を進めるとともに、国内外での提携交渉を進めていく予定です。

- ・平成21年11月16日、当社は、田辺三菱製薬株式会社と遺伝子組換え人血清アルブミンを有効成分とするドライアイ治療用点眼液（開発コード：RU-10）の日本における開発・事業化に関するライセンス契約を締結いたしました。本契約を解消する方向で交渉を開始する旨の決定を行いました。今後はアルブミンの新たな供給先を探索し、アルブミンを有効成分としたドライアイ治療用点眼液の開発を継続する意向です。

- ・平成21年11月20日、当社は、Sucampo Pharma Europe, Ltd.（以下SPE社）が慢性特発性便秘症治療薬（Amitiza®カプセル）のスイスにおける販売承認を取得したことを受け、今後はスイス向けに当社が製造し、SPE社に対して販売を行っていく見込みであることを発表しました。

- ・平成22年2月12日、当社は、平成21年5月14日公表の配当予想について修正することを決議いたしました。当社は経営基盤の強化のための内部留保に配慮しつつ、株主への適切な利益還元を重要な経営課題と位置付けております。業績や配当性向などを総合的に考慮し、中長期的に安定した配当を継続して実施していくことを基本方針としております。この方針に基づき、業績目標に対する達成状況等を慎重に検討し、平成22年3月期配当を1株当たり1,000円と予想しておりましたが、1株当たり2,000円に増配いたします。

本日、平成22年3月期第3四半期決算短信および四半期報告書について、経営陣を代表して当社代表取締役社長 真島行彦は、以下のコメントを発表しました。

「当社は本日、当期第3四半期の決算短信を発表しましたが、8月13日に発表した業績予想の修正における予想値とくらべても想定範囲内で順調に推移していると考えております。

また、当社業績が順調に推移していることに伴い、株主様への適切な利益還元として1株当たり2,000円に増配することを決議いたしました。今後も安定した配当を継続して実施していくことを重要な経営課題と位置付け、企業経営を行ってまいります。

眼科・皮膚科に特化したグローバルな医薬品会社として、安定した収益力をもとに5品目の新薬候補（パイプライン）の開発を進めるとともに、医師の目線にたった総合的な医療サービスが提供できる会社を目指します。」

以 上